

わたしの夢 | <第33回> | 中里小

どんな打球も捕えて
確実な送球をする
一流の内野手になりたい



DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、叶えるもの

山田悠人さん

やまだ・はると
中里小6年

僕は中里小の児童会長です。今、力を入れているのはあいさつ運動。全校児童が、元気いっぱいのあいさつをできるようにしたい。好きな科目は算数で、特に計算が好きです。野球のコーチをしている父の影響で、2歳から野球をしています。2年生でスポーツ少年団に入り、今はキャプテンでショートを守っています。守備範囲が広いショートは、頭を使わないとできません。だから、毎日練習をしています。夢は、プロ野球選手。目標は、東北楽天ゴールデンイーグルスの藤田一也選手です。どんな打球も捕えて、確実な送球をする一流の内野手になりたい。

編集後記

▼負けず嫌いの私。大東高ワープロボ部の取材で対決を申し出ました。開始直後に交換ミスが続出し、あえなく敗退。全国レベルの高さを思い知らされるとともに、間違いない記事づくりを誓う日となりました。(伊東吉光)

▼7月は全国高等学校野球選手権岩手大会が始まります。夢、汗と涙。高校球児のひたむきなプレーに感動します。今年はどうな熱いドラマが生まれるのか。今から楽しみです。(渡辺恭弘)

▼新一関図書館はスゴインです。カフェはあるし、WiFiもネットも使えます。とにかく広いし、飲食OKのスペースも。一度足を運べば、図書館のイメージが変わるはず。オススメです。(高橋英義)

▼短冊に書く願いごとは、もう決まりましたか? もうすぐ7月7日「七夕」です。今年、自家製の七夕飾りで家族とお祝い。願いごとは、当日までじっくり考えます。皆さんの願いがかないますように。

(小野寺裕香)

